

「環境報告ガイドライン2018」への対応状況

「環境報告ガイドライン2018」項目		掲載状況	「JAXA社会環境報告書2022」対応項目	頁
環境報告の基礎情報	1. 環境報告の基本的要件	(1) 報告対象組織 (2) 報告対象期間 (3) 基準・ガイドライン等 (4) 環境報告の全体像	○ 報告対象範囲等 はじめに	37
	2. 主な実績評価指標の推移		○ 環境への取り組み、データ集	22、38
環境報告の記載事項	1. 経営責任者のコミットメント	重要な環境課題への対応に関する経営責任者のコミットメント	○ トップコミットメント	2
	2. ガバナンス	(1) 事業者のガバナンス体制	○ 環境経営推進体制、内部統制	14
		(2) 重要な環境課題の管理責任者	○ 環境経営推進会議議長コミット、環境経営の体制	13
		(3) 重要な環境課題の管理における取締役会及び経営業務執行組織の役割	○ 環境配慮活動	10～20
	3. ステークホルダーエンゲージメントの状況	(1) ステークホルダーへの対応方針	○ ステークホルダーに対するJAXAの役割と責任 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	25
		(2) 実施したステークホルダーエンゲージメントの概要	○ 地域の自然と共存、 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	20
	4. リスクマネジメント	(1) リスクの特定、評価及び対応方法	○ 環境事故・法令違反の防止	14
		(2) 上記の方法の全社的なリスクマネジメントにおける位置付け	○ 内部統制、リスクマネジメントの推進	14、26
	5. ビジネスモデル	事業者のビジネスモデル	無	—
	6. バリューチェーンマネージメント	(1) バリューチェーンの概要	○ バリューチェーンにおける取り組み	19
(2) グリーン調達の方針、目標・実績		○ グリーン購入・グリーン契約	19	
(3) 環境配慮製品・サービスの状況		○ 地球環境保全～気候変動対策への貢献	10～12	
7. 長期ビジョン	(1) 長期ビジョン	○ 第4期中長期計画	3	
	(2) 長期ビジョンの設定期間	○ 第4期中長期計画(2018～2024年度の7年間)	3	
	(3) その期間を選択した理由	○ 第4期中長期計画(国が定めた中長期目標へ対応)	3	
8. 戦略	持続可能な社会の実現に向けた事業者の事業戦略	○ SDGsへの取り組み、JAXA環境方針	23～24	
9. 重要な環境課題の特定方法	(1) 事業者が重要な環境課題を特定した際の手順	○ 環境経営推進の目標及び達成状況	13	
	(2) 特定した重要な環境課題のリスト	○ 環境経営推進の目標及び達成状況	13	
	(3) 特定した環境課題を重要であると判断した理由	○ 環境経営推進の目標及び達成状況 (JAXA環境方針)	13	
	(4) 重要な環境課題のバウンダリー	○ 環境経営の体制等	14	
10. 事業者の重要な環境課題	(1) 取組方針・行動計画	○ トップコミットメント、JAXA環境基本方針	13	
	(2) 実績評価指標による取組目標と取組実績	○ 環境経営推進の目標及び達成状況	13	
	(3) 実績評価指標の算定方法	無* 法律に基づく数値指標なので省略	—	
	(4) 実績評価指標の集計範囲	無* 法律に基づく数値指標なので省略	—	
	(5) リスク・機会による財務的影響が大きい場合は、それらの影響額と算定方法	無* 事業活動に伴って発生する環境負荷や環境配慮等の取組の状況は把握しているが、額の算定までは至っていない。	—	
	(6) 報告事項に独立した第三者による保証が付与されている場合は、その保証報告書	無* 第三者保証を受けていないため。	—	
参考資料：主な環境課題とその実績評価指標	1. 気候変動	(1) スcope1排出量温室効果ガス排出	○ 省エネルギーへの取り組み、事業のマテリアルバランス	15～17
		(2) スcope2排出量	○ 省エネルギーへの取り組み、事業のマテリアルバランス	21
		(3) スcope3排出量	無 未集計	—
		(4) 温室効果ガス排出原単位	○ 環境経営推進の目標及び達成状況 エネルギーの使用の合理化に関する法律への対応 東京都条例への対応(CO2削減への取り組み)	13
		(5) エネルギー使用量の内訳及び総エネルギー使用量	○ 事業のマテリアルバランス	21、38
		(6) 総エネルギー使用量に占める再生可能エネルギー使用量の割合	無 未集計	—
	2. 水資源	(1) 水資源投入量	○ 事業のマテリアルバランス	21、38
		(2) 水資源投入量の原単位	無 未集計	—
		(3) 排水量	○ 事業のマテリアルバランス	21、38
		(4) 事業所やサプライチェーンが水ストレスの高い地域に存在する場合は、その水ストレスの状況	無 未集計	—
	3. 生物多様性	(1) 事業活動が生物多様性に及ぼす影響	無※ ※惑星等の保護などを通じ地上への影響を軽減するよう考慮するなど、間接的に生態系への影響配慮を行っている。また、事業所では緑化に取り組んでいるものの、直接的な事業活動としては行っていない。	—
		(2) 事業活動が生物多様性に依存する状況と程度	無	—
		(3) 生物多様性の保全に資する事業活動	○ 地球環境保全～気候変動対策への貢献	10～12
		(4) 外部ステークホルダーとの協働の状況	○	—
	4. 資源循環	(1) 再生不能資源投入量	無 未集計	—
		(2) 再生可能資源投入量	無 未集計	—
		(3) 循環利用材の量	無 未集計	—
		(4) 循環利用率(=循環利用材の量/資源投入量)	無 未集計	—
(5) 廃棄物等の総排出量		○ 事業のマテリアルバランス	21、38	
(6) 廃棄物等の最終処分量		無 未集計	—	
5. 化学物質	(1) 化学物質の貯蔵量	○	化学物質の適正管理 事業のマテリアルバランス	18
	(2) 化学物質の排出量	○		
	(3) 化学物質の移動量	○	製造無し。(使用量は一部未集計)	—
	(4) 化学物質の取扱量(製造量・使用量)	無		
6. 汚染予防	(1) 法令遵守の状況(全般)	○ 環境経営推進の目標及び達成状況	13	
	(2) 大気汚染規制項目の排出濃度、大気汚染物質排出量	○	事業のマテリアルバランス	21、38
	(3) 排水規制項目の排出濃度、水質汚濁負荷量	○		
	(4) 土壌汚染の状況	無 土壌汚染の報告なし	—	